



平成 29 年 10 月 27 日

各 位

会社名 株式会社 M o n o t a R O  
代表者名 代表執行役社長 鈴木 雅哉  
(コード番号：3064 東証第一部)  
問合せ先 執行役管理部門長 甲田 哲也  
電話番号 (06) 4869-7190

### 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 1 月 27 日に公表しました平成 29 年 12 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正致しますので、お知らせ致します。

#### 記

#### 1. 業績予想の修正について

##### (1) 平成 29 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	84,239	11,596	11,607	7,934	64.02
今回修正予想 (B)	88,006	11,795	11,798	8,376	67.51
増減額 (B-A)	3,767	198	190	442	—
増減率 (%)	4.5%	1.7%	1.6%	5.6%	—
<ご参考> 前期実績 (平成 28 年 12 月期)	69,647	9,493	9,514	6,368	51.46

##### (2) 業績予想修正の理由

当第 3 四半期連結累計期間の当社単体は、①リスティング広告の強化等により新規顧客の獲得が順調に推移したこと、②利用頻度向上に向けた施策が功を奏したこと等により既存顧客の売上も想定を上回ったこと及び③連携社数・利用者増加に伴い大企業向け売上も計画を上回ったこと等により、売上高が当初計画を上回る結果となりました。また営業利益におきましても、比較的利益率の低い国内調達商品の割合が高まったことや笠間ディストリビューションセンター開設に伴う物流関連コストの一時的な増加等があったものの、当初計画を上回る結果となりました。

当第 4 四半期連結会計期間においても、当社単体の売上高は上記の傾向が継続するものと想定され、営業利益に関しましても、当初計画を上回るものと見込んでおります。

一方、当社の韓国子会社である NAVIMRO Co., Ltd. は、引き続き韓国経済が厳しい状況にあるなか、売上面においては当初計画を下回ったものの、コストを抑えた効率的な経営を行い、利益面においてはほぼ当初計画通りで推移しております。また当社のインドネシア子会社である PT MONOTARO INDONESIA は、売上と利益の両面におきまして、当初計画通りの推移となっております。

以上により、当連結会計年度 (平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日) の連結業績予想を上方修正致します。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上